

第 3 章 起動の準備

1 環境設定

本ソフトウェアでマウスを使用する際は、CONFIG. SYS に下記の記述があることを確認して下さい。

```
DEVICE = MOUSE. SYS
```

※詳しくは、MS-DOS 付属のユーザズマニュアルを参照の上、デバイスドライバを常駐してください。

2 日本語フロントエンドプロセッサの組み込み方法

本ソフトウェアを使用するにあたっては、かな漢字変換が必要となります。日本語フロントエンドプロセッサの組み込み方法をつぎに示します。

(1) CONFIG.SYS の内容に下記の行を追加します。

(ATOK8 を使用する場合)

```
DEVICE = ATOK8A.SYS / UCF = ATOK8.UCF
```

```
DEVICE = ATOK8B.SYS
```

(2) 次のファイルをコピーします。

```
ATOK8A.SYS
```

```
ATOK8B.SYS
```

```
ATUT. EXE 等必要なファイル
```

注意：ファイルは使用される方の運用方法によって異なります。

詳しくは、日本語フロントエンドプロセッサ付属のマニュアルを参照して下さい。

(3) ATOK8を使用する場合は、本ソフトウェアを起動する前にAPIエミュレータ
8TO6.COMを実行します。

本ソフト終了後は、8TO6を解除し、元の状態に戻します。

そのため、本ソフト起動用のAUTOEXEC.BATを次のように変更する必要があります。

ECHO ON

8TO6

←起動の設定前にこの記述を追加

KEYBOARD

←ソフトの起動設定

8TO6 /R

←8TO6の解除設定